

## 最近、「人工知能」という記事が多くなり、目立つようになったと感じませんか？

最近読んだ著書「キャラクターパワー」に、ロボットに癒される時代というテーマがありました。

### ロボットに癒される時代

生活の中でロボットをパートナーとして役立てる取り組みは、着々と現実化しています。

その代表例として、アザラシ型の癒しロボット「パロ」が挙げられます。

「パロ」を認知症のお年寄りのケアに役立てる取り組みは「ロボット・セラピー」と呼ばれ、日本だけでなく海外にも広がっています。

症のお年寄りが「パロ」に話しかけ、いとおしそうに体をなでると、しっぽを振って反応し「きゅー」という愛らしい鳴き声をあげます。

認知症患者に「この子の面倒をみてもらえますか」とお願いすると、お年寄りは常に「パロ」に話しかけるようになり、笑顔も増え、夜は抱っこして寝ることもあるとのこと。

「パロ」とのふれあいによって患者のお年寄りは、子供や孫を育てていたころを思い出し、生活に張りが出てストレスが減ったり、表情が明るくなったりするそうです。

ペットの癒し効果に着目した「アニマルセラピー」が盛んな欧米では、当初から主に認知症のお年寄りのケアに「パロ」が使われたということです。

日本では個人がペット代わりに購入することが多かったのですが、最近になって欧米での評価に後押しされる形で、医療・福祉施設での導入が増えているといいます。(読売新聞 2012年9月27日)



### <経営のヒント>

パロは、Amazon ではメンテナンス付で、453,600円で販売されています。

この45万円を高いと感じるのか？それとも安いと感じるのか？

もしペットの犬を飼うとしたら・・・実際にいくら掛かるか？ご存知ですか？

ペットを飼うために、専用のマンションや一軒家。

そして、毎日の餌代やペット保険。

又、大変なのは、散歩につれていくことは、一生涯を面倒見る覚悟が必要ですね。